近永愛児園行の子川柳会

おじさんにおかしをもらったおいしいな　小3　澁谷　裕紀
泣いてる子やさしく言おうだいじょうぶ　小3　槇　美琴
カエルなくいきなり雨がふりだした　小4　清原　賢斗
かき氷ぼくが好きなのレモン味　小4　山口　悠李
泣く声はみんなも悲しもうやめて　小4　梶田　健太
卒園をしても来てねと約束し　小5　清原　彩香
マスクのねゴムがみじかい耳いたい　小5　槇　晋平
悲しくて泣いてしまった送別会　小6　鳥生　祐衣
バレンタイン勇気をもらうおまじない　中1　植木　真弓
軒下にのびた氷がつむじ刺す　中3　槇　美里
赤ちゃんは見るものすべて初めてだ　高1　西村　和希
キャッチャーもケガしないようマスクする　高1　山崎　慶子
マスクのけその下なんと美人さん　高2　平　芳香
つらい時思う存分泣けばいい　高2　秋元　悠香
マスクとる別人じゃんかあららららら　高3　篠原　りさ
あの頃の約束きっと忘れない　高3　山崎　響子

鬼　北　句　会

花筏早瀬に乗りて呑まれけり　善家　三代
つばくらめ来たか来たかと孫の声　善家　信景
今の世は古稀夭折ぞ涅槃西風　上甲　正志
受賞せし喜び分つ春夕　今西　英子
東京の西より早し花便　松岡　寛孝
開花宣言花の遺句集読みかえし　二宮千代子
つちふるや天守閣までうるませし　松本　久江
結婚記念日実家の桜三分咲き　武田　幸子
霾れり夢の続きを見るやうに　毛利　知子
老いてなほ後継ぎもなし春田打　善家　章
百八段登る札所寺落椿　二宮　友子
じつによく泣く赤ん坊花の冷え　芝　都留
吊橋に立往生す春疾風て　新倉地映子
人見るも人見ざるとも花は咲き　芝　光恭
奥伊予路茶堂をつなぐ花菜道　白敷フサ子
初音とは思へぬ初音脚とどめ　上甲　斗志

大きくなったら

愛治小学校

わたしは、大きくなったら、ケーキやさんになりたいです。ケーキやさんになったらいちごケーキをたくさんつくっていっぱいかいにきてほしいです。チョコレートケーキもつくってかぞくにたべさせてあげたいです。おとうさんみたいにケーキをじょうずにつくってみたいな。

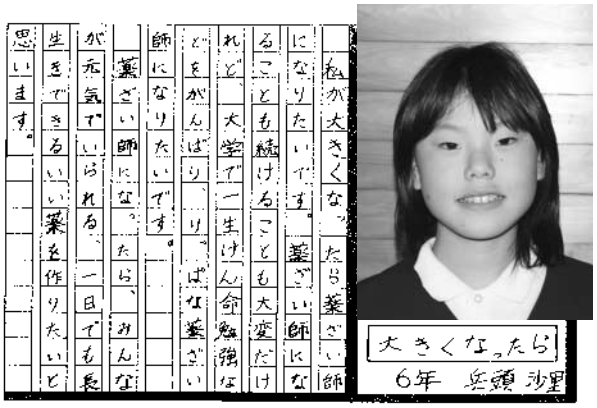
ケーキやさん
2年 古川まいか

私のしょう来のゆめは、ピアニストになることです。ピアニストになるためには、いろんな記号を覚えたり、長い曲や速い曲などがひけるようになりたいです。そして、もしピアニストになったら、いろんな所に行ってたくさんの人に美しい曲を聞いてもらいたいです。

ピアニストになりたい
5年 沖上真由

ぼくのしょう来のゆめは、だいくさんになることです。なぜかというと、ものを作ることがすきだし、とくに家とかを木で作ってみたいからです。だいくさんになったら、げんかんの広い、二階だての大きな家をたてたいです。それができたら、木を使ってぬりつくりにもちょうせんしたいと思います。

ぼくのしょう来のゆめ
4年 毛利大樹



私が大きくなったら薬ざい師になりたいです。薬ざい師になることも続けることも大変だけれど、大学で一生けん命勉強などをがんばり、りっぱな薬ざい師になりたいです。薬ざい師になったら、みんなが元気でいられる、一日でも長生きできるいい薬を作りたいと思います。

大きくなったら
6年 兵頭沙里